

製品名: TNFSF9 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82635**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFSF9
別名	CD137L; TNLG5A; 4-1BB-L
遺伝子 ID	8744.0
SwissProt ID	P41273
免疫原	大腸菌で発現したヒト TNFSF9 (AA: Extra (50-254)) の精製組換え断片。

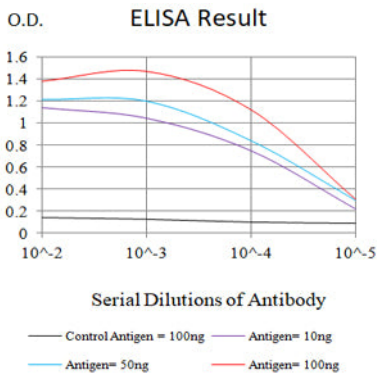
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、腫瘍壊死因子 (TNF) リガンドファミリーに属するサイトカインです。この膜貫通型サイトカインは、Tリンパ球の共刺激受容体分子である TNFRSF9/4-1BB のリガンドとして機能する双方向シグナル伝達物質です。こ

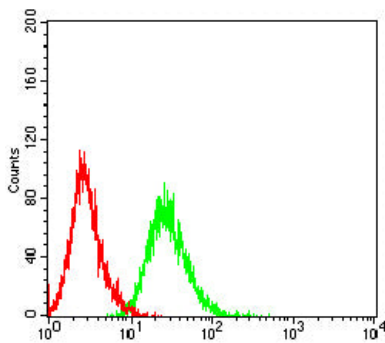
のサイトカインとその受容体は、抗原提示プロセスと細胞傷害性 T 細胞の生成に関与しています。受容体 TNFRSF9/4-1BB は休止期 T リンパ球には存在しませんが、抗原刺激により急速に発現します。この遺伝子によってコードされるリガンド TNFSF9/4-1BBL は、T リンパ球の増殖を促進するだけでなく、アネルギー T リンパ球を再活性化することが示されている。このサイトカインは、CD8 T 細胞における最適な CD8 応答に必要であることも示されている。このサイトカインは癌細胞株で発現しており、T 細胞と腫瘍細胞の相互作用に関与していると考えられています。

研究分野

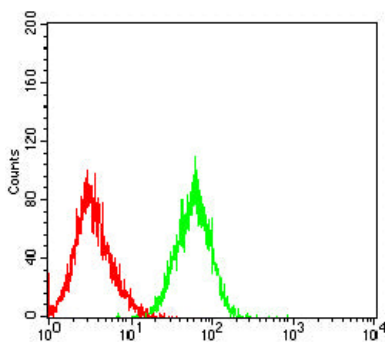
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



TNFSF9 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



TNFSF9 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。